

令和4年 犬山市の救急救助業務概要

救急活動状況

令和4年中の救急活動状況は、出動件数3,528件、搬送人員3,284人で前年と比較すると出動件数は495件、搬送人員は428人の増加でした。これは1日に平均9.7件、2.5時間に1件の割合で救急隊が出動しています。

事故種別

上位の出動件数は急病が最も多く、2,402件、次いで一般負傷559件で以下、転院搬送225件、交通事故200件の順となっています。

前年と比較すると、急病が457件、一般負傷が78件、交通事故が9件増加し、転院搬送が20件減少しました。

年齢・程度別

搬送人員3,284人を年齢別で見ると、新生児5人、乳幼児124人、少年112人、成人903人、高齢者2,140人となっています。

搬送人員3,284人を程度別にみると、死亡45人、重症231人、中等症1,814人、軽症1,194人でした。前年と比較すると、死亡が15人、軽症が217人、中等症が226人増加し、重症が30人減少しました。

その他

応急手当講習会の開催数は114回で、2,690の方が受講されました。

内訳は、上級救命講習が2回7人、普通救命講習が31回90人、その他の救急講習が81回2,593人です。

救助活動状況

令和4年中の救助出動件数は67件でした。その出動で実際に救助活動したのは37件、救出したのは38人でした。原因別にみると、建物等の事故による出動件数31件（救出人数11人）、交通事故による出動件数13件（救出人数12人）、水難事故による出動件数5件（救出人数4人）上記以外の理由による出動件数18件（救出人数11人）となっています。

救助出動件数（ ）は令和3年

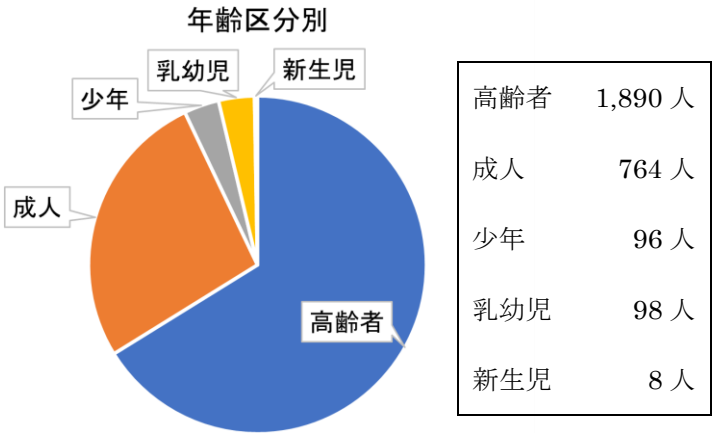
救助に伴う救急搬送人数・傷病程度（不搬送者除く）

種別	出動件数	活動件数	救出人数
建物等の事故	31(29)	14(20)	11(15)
交通事故	13(10)	8(4)	12(11)
水難事故	5(3)	4(2)	4(2)
上記以外	18(20)	11(12)	11(10)
合計	67(62)	37(38)	38(38)

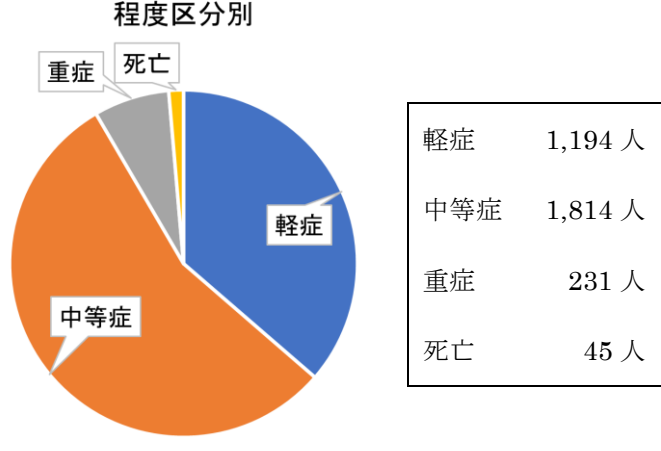
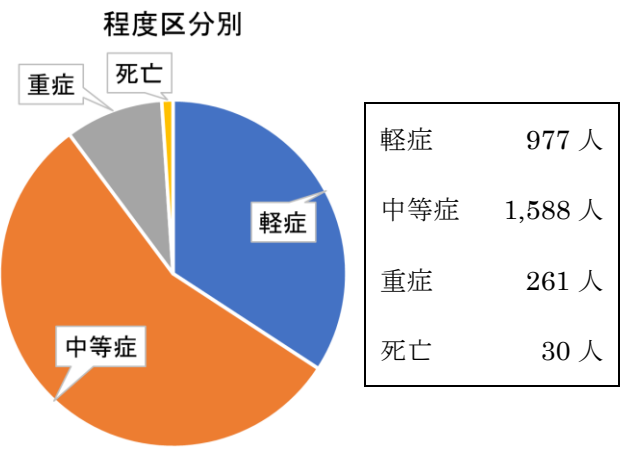
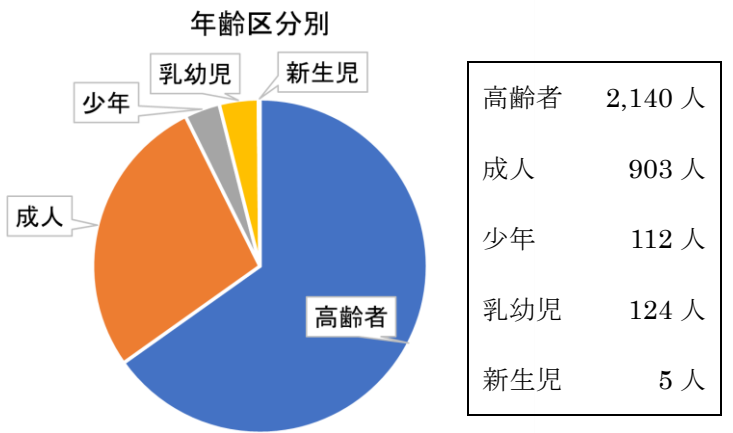
種別	死亡	重症	中等症	軽症	合計
建物等の事故	1	2	4	3	10
交通事故	0	1	7	4	12
水難事故	0	2	2	0	4
上記以外	0	2	4	4	10
合計	1	7	17	11	36

年齢・程度別搬送人数

令和3年
搬送 2,856人



令和4年
搬送 3,284人



程度区分 (医師の診断に基づく)

- 死亡 初診時に死亡が確認された者
- 重症 傷病程度が3週間以上の入院を必要とする者
- 中等症 傷病程度が重症又は軽症以外の者
- 軽症 傷病程度が入院加療を必要としない者

年齢区分

- 新生児 生後27日までの者
- 乳幼児 生後28日から6歳までの者
- 少年 7歳から17歳までの者
- 成人 18歳から64歳までの者
- 高齢者 65歳以上の者

救急事故種別																
区分	合計	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				
												転院搬送	医師搬送	資器材輸送	その他	
令和4年	出動件数	3,528	6	0	5	200	27	19	559	10	23	2,402	225	0	0	52
	搬送人員	3,284	0	0	3	200	27	19	535	8	16	2,249	227			
令和3年	出動件数	3,033	6	0	3	191	60	14	481	7	26	1,945	245	0	0	55
	搬送人員	2,856	1	0	1	178	60	14	470	6	17	1,864	245			